

## 平成 29 年度第 1 回 函館市高齢者計画策定推進委員会 会議概要

### ■ 日 時

平成 29 年 6 月 27 日（火） 18 時 30 分～19 時 55 分

### ■ 場 所

市役所本庁舎 8 階第 1 会議室

### ■ 議 事

- (1) 高齢者計画策定推進委員会の設置について
- (2) 正副会長の選任について
- (3) 第 8 次函館市高齢者保健福祉計画・第 7 期函館市介護保険事業計画の策定について
- (4) 高齢者・要介護（要支援）認定者の現状について

### ■ 配付資料

- ・ 会議次第
- ・ 函館市高齢者計画策定推進委員会設置要綱（資料 1）
- ・ 計画策定にあたって（資料 2）
- ・ 介護保険法改正概要（資料 3）
- ・ 函館市高齢者計画策定推進委員会の開催スケジュール等（資料 4）
- ・ 計画策定に向けた各種調査について（資料 5）
- ・ 介護保険施設等入所（入居）申込者状況調査の概要（資料 6）
- ・ 入所（入居）申込者状況照会票（資料 6－2）
- ・ 高齢者・要介護（要支援）認定者の現状（資料 7）
- ・ 函館市の日常生活圏域（資料 7－2）

### ■ 出席委員（14 名）

朝倉委員，天羽委員，池田委員，岩井委員，小川委員，奥野委員，川口委員，木村委員，熊川委員，佐々木委員，所委員，中村委員，能川委員，八幡委員

### ■ 欠席委員（1 名）

恩村委員

### ■ 傍 聴 0 名

### ■ 報道機関 1 社（函館新聞社）

### ■ 事務局職員

藤田保健福祉部長，佐藤保健福祉部次長  
保健福祉部 介護保険課 深草課長，山中主査，江良主任  
保健福祉部 高齢福祉課 佐藤課長，岩島主査，中村主査

## ■ 会議要旨

- 1 開 会
- 2 部長挨拶
- 3 委員および事務局職員紹介
- 4 議 事

### (1) 函館市高齢者計画策定推進委員会の設置について

事務局：山中介護保険課主査

---

(資料1「函館市高齢者計画策定推進委員会設置要綱」に基づき説明)

### (2) 正副会長の選任について

事務局：山中介護保険課主査

---

委員会設置要綱第4条第2項の規定により、会長は委員の互選により定めることとなっているが、どうか。

(「事務局から案はないのか」の声)

事務局案としては、平成5年の最初の計画策定時から委員を務めており、長年、福祉教育に取り組まれている函館大妻高等学校校長の池田委員にお願いしたいが、いかがか。

(異議なく委員からの拍手多数)

異議がないようなので、会長は池田委員に決定する。  
池田委員には、会長席へお移りいただき、一言ご挨拶頂戴したい。

(池田会長挨拶)

続いて、委員会設置要綱第4条第3項の規定により、副会長は会長が指名することとなっているので、会長から氏名をお願いしたい。

池田会長

---

それでは、函館市社会福祉協議会会長である奥野先生にお願いしたいと思うがどうか。

(異議なく委員からの拍手多数)

事務局：山中介護保険課主査

---

ご指名があったので、副会長を奥野委員に決定する。  
奥野委員には、副会長席へお移りいただき、一言ご挨拶を頂戴したい。

(奥野副会長挨拶)

これからの委員会の議事進行については、会長を議長として進めていただくので、よろしくお願ひしたい。

### (3) 第8次函館市高齢者保健福祉計画・第7期函館市介護保険事業計画の策定について

事務局：山中介護保険課主査

---

(以下の資料に基づき説明)

- ・ 資料2 計画策定にあたって
- ・ 資料3 介護保険法改正概要
- ・ 資料4 函館市高齢者計画策定推進委員会の開催スケジュール等
- ・ 資料5 計画策定に向けた各種調査について
- ・ 資料6 介護保険施設等入所（入居）申込者状況調査の概要
- ・ 資料6-2 入所（入居）申込者状況照会票

池田会長

---

ただいまの説明に対し、何か質問はあるか。

岩井委員

---

資料3の2ページにある先進的な取り組みを行っている和光市、大分県について、具体的にどのような取り組みをして要介護認定率が下がったのか。

事務局：佐藤高齢福祉課長

---

埼玉県にある和光市は、要支援の方のケアプランを徹底的に検証し、サービスを過剰に設定して自立を妨げていないかをチェックしたり、具体的な目標を設定し、数か月おきに検証も行って介護予防に取り組んで効果を上げた。全国的にも注目を浴びているまちである。

池田会長

---

他に質問はあるか。

能川委員

---

第6期計画の目標値があったと思うが、達成度についてどのように検証されているのか。また、30年度に向けて保険者機能が強化される中で、今の人材、人員配置でよいのか心配、疑問があるが。

事務局：山中介護保険課主査

第6期計画では目標値は定めてなく、あくまで見込みである。本年2月の委員会の際にも27年度および28年度の状況について、見込みに対する実績の説明をしている。

事務局：深草介護保険課長

次期計画では目標値を設定し、目標の達成状況の公表、報告をする仕組みとなる予定である。実績評価をして改善した場合にはインセンティブが付与されるためきちんと進めていきたい。

人員配置についても計画をきちんと進めていけるように考えていきたい。

池田会長

他に質問はあるか。

岩井委員

資料3の3ページにある長期療養のための医療と日常生活上の介護を一体的に提供する介護医療院とは、今の介護療養病床を転換してこちらに移行していくという解釈でよいのか。

事務局：深草介護保険課長

介護療養病床は6年間延長され、35年度末で廃止される方向性のため、介護医療院への移行が見込まれる。なお、介護医療院は住まいに病院の機能がついているような仕組みとなるようである。

能川委員

資料3の1ページにある都道府県による市町村に対する支援事業の創設とはどんなイメージをもったらよいか。

事務局：佐藤高齢福祉課長

介護保険の保険者は市町村であり、都道府県は市町村をバックアップする役割がある。小さな市町村では取組みが困難な事項もあり、都道府県のバックアップが充実されるものである。

池田会長

他に質問はあるか。

能川委員

資料6の介護保険施設等入所申込者状況調査の「イ調査対象施設」の各施設数はいくつか。

事務局：深草介護保険課長

(施設数について説明)

佐々木委員

---

資料6の介護保険施設等入所申込者状況調査について、重複して申し込んで  
いる方は除いているのか。

また、この調査対象施設では、どの程度人材不足が進んでいるのか。

先日新聞で、札幌圏でケアマネジャーが今後不足するだろうと報道があつた  
が、現場では、ヘルパーステーションは求人をつくら出しても埋まらない、施  
設は空床で待機者もいるが介護スタッフがいないなどとなっている。施設数の  
充実も必要だが、従事者数も何らかの対策をとっていかないと危惧してい  
るところである。

事務局：深草介護保険課長

---

待機者調査については、重複者は含まないように整理していくことになっ  
ている。

ケアマネについては、現状では不足しているとは聞いていないが、介護職員  
はやはり不足していると聞いている。今年度市でも人材育成の関係事業を行っ  
ているが、施設もまた増えるということで事業者も大変苦慮している状況にあ  
るかなと思われ、人材不足については、市でも取り組んでいかなければなら  
ず、次期計画に位置づけが必要な検討事項であると考えている。

池田会長

---

他に質問はあるか。

川口委員

---

資料2の1ページに「団塊の世代がすべて75歳を迎える平成37年までの  
中長期的な視野に立った計画を策定する」とあるが、私も団塊の世代であるが、  
団塊の世代がやる気を起こすような政策を作っていただきたい。

人材もそれに対応するような仕組みを整えないと対応できない問題が出て  
くるような感じがする。

池田会長

---

人材不足は本当に深刻な問題だと思う。何とかしなければならないなと考  
えている。他に全体通して何かあるか。

奥野委員

---

資料3の5ページについて利用者負担割合の見直しの資料で、「収入」、「所  
得」、「必要経費を控除した額」という言葉が出てきて理解しづらいため、次  
回、例示を挙げて説明していただきたい。

事務局：深草介護保険課長

---

了解した。

池田会長

---

よろしく願います。では、資料7について事務局から説明してもらいたい。

事務局：山中介護保険課主査

---

(以下の資料に基づき説明)

- ・ 資料7 高齢者・要介護（要支援）認定者の現状
- ・ 資料7-2 函館市の日常生活圏域

池田会長

---

資料7について何か質問あるか。

能川委員

---

9ページの圏域別の65歳以上の親族がいる世帯数について、参考になると思ったのが、高齢者単身世帯数と高齢者夫婦世帯数を合わせて65歳以上の親族がいる世帯数で割ると、東部圏域の値が低く、他の圏域に比べ東部は家族で高齢者をみているのがわかる。東部のような世帯状況・社会環境を見習っていくような施策を考えていかなければならないと思った。

池田会長

---

参考になる意見かと思われる。

川口委員

---

東部に住んでいるが、数的にはいいと思われるかもしれないが、町内会の活動に段々参加する人数が減ってきて、単身・二人世帯も増えて町内会から離脱する世帯も増えている。そんなにいい感じでもないことを申し上げておく。

また、最近気になったのは、函館市が「魅力度が1位」に選ばれているにもかかわらず「幸福度が最下位」だと報道があった。幸福感とは、最後に住んでよかったと思えるまちだと思うので、幸せを感じられるような独自の施策、社会に向けて特徴のある計画が作ればよいと思う。

池田会長

---

ありがとうございました。全体を通して何か質問あるか。  
(質問なし)

## 5 その他

事務局：山中介護保険課主査

---

次回の委員会については7月25日（火）18時30分から、こちらの会場にて予定している。委員会の開催案内については、別途また送付させていただきます。

## 6 閉 会